

1994年8月5日発行

あんふぁんて

逐次刊行

№201

平成6年8月2

1994年8・9月合併号

1994年8月5日発行(毎月1回5日発行)

No201

あんふぁんて

発行人/ 発行所/あんふぁんて出版部

定価/500円 振替口座/ あんふぁんての会 電話/

子どもがいるからこそ

知らなかった
子どもが生まれるまで

知らなかった

子育てがこんなに大変だなんて

知らなかった

子どもができるまで

子連れで行ける所がこんなにないなんて

何日か落ちこみが続いた後

とにかく外に出ようと思った

一歩踏み出すと道が見えてきた

子どもがいるからこそ

できること

子どもがいるからこそ

知り合えた人たち

ずっとずっと大切にしたい

メッセージ・イラスト

森田



- 0123 吉祥寺を、ご存じですか？
 ● 知っている ↓ 二十六名
 ● 知らない ↓ 七十三名
 ● 保育室は開放されていますか？
 ● 開放されている ↓ 十七名
 ● 開放されていない ↓ 四十六名
 ● 開放を希望する ↓ 七十名
 ● 公共施設を、どのように利用したいか？
 ● 自分の友達づくりに、利用したい人が最も多い。次いで、親子あそび、子どもの友達づくり。
 ● 知りあいは多くても、なかなか友達になれず、自分自身のネットワークが欲しいという現状を表している。
 ● 託児付講座（育児関係以外のもの）
 ● 趣味の場
 ● 母親の出会いの場
 ● フリースペース（イベントちらし、メンバー募集ポスターなど自由に掲示、ネットワークの会合場所として）
 ● 親も自分の時間が持てるよう又、子どもも家族以外の人と接することができるよう、週何回か、午前中だけでも預かってくれる制度を希望。
 ● 子育て後の再就職に関する学習会、女性学コース
 ● 目的を持った活動を、継続して行いたい
 ● 子連れで、おすすめところは？
 ◎ 関東地区
 ● 練馬区立女性センター
 ● エポック10（豊島区・池袋駅）
 ● 羽根木公園ブレイク（小田急線梅ヶ丘）
 ● 教育科学館（板橋区）・プラネタリアム

- パルシティ江東（江東区女性センター）
 ● 武蔵野市総合体育館ブレイクルーム
 ● 井萩公園（杉並区）
 ● 大泉中央公園（練馬区）
 ● 町田りす園
 ● 府中市郷土の森
 ● 昭和記念公園（立川市）
 ● 井の頭自然動物園（武蔵野市吉祥寺）
 ● 羽村市立動物公園
 ● 子ども科学館（八王子市）
 ● 武蔵野市立0123吉祥寺
 ● おばあちゃんの玉手箱（武蔵野市吉祥寺）
 ● クレヨンハウス（港区・北青山）
 ● かながわ女性センター（藤沢市）
 ● 横浜女性フォーラム（横浜市中区）
 ● フォーラムよこはま（横浜市中区）
 ● こどもログハウス（横浜市中区）
 ● 神奈川県立東高根森林公園
 ● 神奈川県立立谷山公園
 ● こどもの国（横浜市緑区）
 ● 湘南台文化センター（小田急線湘南台駅）
 ● 電車とバス博物館（川崎市）
 ● 有馬ふるさと公園（川崎市宮前区）
 ● 戸田市こどもの国（埼玉県戸田公園駅）
 ● 所沢市立図書館
 ● さいたま水族館
 ● こども動物自然公園（埼玉県東松山市）
 ● 千葉動物公園（千葉市モノレール）
 ● 志津コミュニティセンター（京成ユーカリが丘駅）
 ● 市川市女性センター（ウイズ）

- ◎ 首都圏外
 ● 堀内公園（愛知県安城市）
 ● 刈谷市交通児童遊園
 ● 大平公園（多治見市）
 ● 万博公園（吹田市）
 ● 高岡市立働く婦人の家
 ● 宝塚市立女性センター・エル
 ● ひよ子ランド（福岡市）
 ◎ 全国的に
 ● 親子劇場・子ども劇場
 ● 自主育児サークル活動
 ● ショッピングセンター
 ● 子ども専門ファッションビル
 ● 温泉ランド
 ● しみなさんからの思い
 ● 子育てについて、公共施設に対する意見を中心に抜粋してみました。
 ● 行政の窓口は、理解ある女性職員を採用し、様々な相談に気軽にのってほしい。子育て期の女性のパワーを認めてほしい（藤岡市）
 ● 「子育て」とががんばってみたいものの、結局人間対人間がどう接していくかだと気がきました。
 ● 我が家は、障害程度のため悩みもあるが、もっと大変な子もいます。毎（火）教育TV十九時二十分「療育相談」でもみて、視野を拡げて下さい。（世田谷区）



公共施設の現状と母子福祉

※ 8月8日発行

- たくさんのアンケートを頂き、誠にありがとうございました。（総数二二一枚・会員43名・非会員57名）一枚一枚から切実な願い、そして励みになる文章もたくさんありました。まさに、母子福祉が立ち遅れている現状がみえるようです。
 ● 子連れで行ける場所や機会が増えれば、一人一人の意識も変わり、ひいては社会も変わるのでは……そんな願いをこめて編集しました。
 ● ヘアアンケート結果から
 ● 公共施設で、昼食を食べてはいけないという所が多い。（児童館によっては、OKのところもある）
 ● 出産後の母親学級やサロンを地方自治体主催で開いてほしい。母親の交流が一番必要な時に、自分たちでは、企画・運営ができない時期だから。
 ● 公園に対する不満・要望として、汚い、あまり管理されていない、〇・二歳児の遊びやすい遊具が少ない、一番多い。もっと地域の母親たちも交替で掃除したり、自治体側にも（公園管理事務所等）はつきり要望を伝えた方がよいのではないかと、自治体の企画するイベント・サークルに、〇・二歳児の参加出来るものが、ほとんどない。託児のつかない地域も多く、二歳以上というのがほとんど
 ● せめて、公共施設には、ベビーベッド、子

- ども同伴用のトイレの設置をという、切実な願いが多い。
 ◎ 項目別集計
 (1) 子どもの年齢
 ● 三歳未満の割合が最も多く（75%）、次いで三・五歳。幼稚園・小学校などの集団生活へ入る前の段階で、親子ともに出合いを求めているし、公共施設の現状の問題点を感じ、アンケートを返送して下さったようです。
 (2) 児童館が近くにありませんか？
 ● 65%の割合であるという答え。これには、地域性があり、全くないという自治体も全国には多い。
 (3) 利用したことがありますか？
 ● 週一回以上、利用している人が多い反面、利用したことがない人の数も気にかかる。
 ● 利用しにくい施設なのかな？
 ● どう利用していいかわからない。
 ● 他に、遊び場所があるから利用していないという声もあります。
 (4) 児童館はどんな施設
 ● 内容をだいたいわかってるつもりでも、詳しくはわからないという声が多い。
 ● 児童福祉法 第四十条から
 ● 児童厚生施設は、児童遊園・児童館等児童に健全なあそびを与えて、その健康を増進し、又は、情操を豊かにすることを目的とする施設とする………となっております。
 (5) 公共施設に対する要望
 ◎ 全体的に
 ● ベビーベッド、子ども同伴トイレの増設
 ● 情報を多く流してほしい。

- エレベーターの設置
 ● 職員の対応↓ゆとり・あたたかみ・おらかさを持つてほしい
 ◎ 図書館
 ● 時間の延長
 ● 乳幼児とすぐしやすいムード（託児室の設置）
 ● 移動図書の実施
 ◎ 公園
 ● 清掃・安全性への配慮
 ● 遊具の充実
 ● 自然や、思いっきり走り回れるスペースを
 ● ハイハイの子も遊べる芝生
 ◎ 公民館・地域コミュニティセンター
 ● 保育付講座の充実
 ● 催し物・活動内容の情報をママに流してほしい
 ◎ 児童館
 ● 乳幼児室・保育室の設置
 ● 乳幼児室をオープンにしてほしい。
 ● 存在を、もっと地域にアピールして
 ● 乳幼児専用スペースの設置
 ● 昼食をとりたい
 ◎ 交通機関
 ● おむつ替えの出来るスペース・ベビーベッド
 ● スロープの設置（ベビーカーで移動可能）
 ● 子ども専用車両の設置
 ◎ 女性センター
 ● 主催講座以外での、保育室の開放
 ● 保育定員を増やし、二歳以下も利用出来るように。

●アスレチック等の遊具よりも、登れる木、実のなる木・水たまり・小川・小山の方が人気があり、自分から遊びを考え出せる可能性もある。(海老名市)

●子どもはいいが、いろいろな人が出会う場所をもつにはどうしたらよいか考えている。(名古屋市)

●誰も何も要望しなければ、天からよい施設がふってくるわけではない。結局は住民の質なんだと、つくづく感じている。(千葉市)

●「子どもがいるから、何も出来ない」なんてことは出来るだけないようにしたい。そして、社会に対しての働きかけを、育児中のママ達から、起こしていきたい。

●地域の親同士が知り合える場、時間を設定してあげることが、必要です。公民館内の指導員として、育児サロンを計画中です。(高岡市)

●子育ては、いつか終わるもの。その時に何かしようと思っても、年はとっているし、何の能力もなければ、子育てにかわる生きがいとなる仕事も持てない。人生八十歳の時代、生涯教育の一環として、女性の人生なかばからの出発を考える教育が必要である。そうではないければ、私は今の子育て期を楽しむことができず、不安とあせりの中で暮らさなければならぬ。(愛知県額田郡)



●今の世の中、子連れにとりやりにくい事が多い。母親が、小さな子どもがいても好きな事をやり、外へ出たり、仕事をしたり、学習したりすることに對して、社会は冷たい。子どもがいても、母親が外へ出れる、子連れで活動するのが当然、当たり前というふうな社会になって欲しいし、次の世代のためにも、私たちがやる必要があるのだと思う。子連れにやさしい社会というのは、高齢者、障害のある人など、全ての人がやさしい社会だと思うのです。(兵庫県川西市)

●子育て中は、自分の子どもの年齢がかわる社会問題のみに目が向き、それを過ぎてしまふとその問題が解決していかなくて、もう関係ないからという態度になりがちで、とてもおかしいと思う。子育て世代の大変さを、アピールするばかりでなく、共に他年代の人達とも時代をよくするように、多くの問題を考えていくべきだと思います。(藤沢市)

●冬は雪に閉ざされて、何日も外出できないこともあります。多少の悪天候でも、歩いていけるところに児童館のような施設が是非とも欲しいと痛感しています。児童館の活動がもう少し見直されて、重要性が認識されてもいいと思います。(青森市)

●昼食をはさんでの活動が可能な施設がほしい、又雨天時は行き場がない。切実にそう思っている、自ら「赤ちゃん広場」を、月一回、こども文化センターを借りて、やっています。行政で取りくんできてほしいと思います。窓口レベルの働きかけの段階でくじけています。(毎月第二木曜日10時半〜12時30分・宮崎こども文化センター・参加無料)(川崎市)

●子ども同志の中に、あまりにも大人がかかわりすぎて、子どもの関係が出来にくくなっています。大人のメンツ・関係をとりつくるために、子どもの関係が無視されているのではないのでしょうか。(川崎市宮前区)

●母子カプセルからの脱出と言われますが、児童館・公園通いで脱出といえるのでしょうか。どこにいても、母と子のセットで、父の姿は無く、また母である前に女性としてのあり方が考えられていないように思う。育児の女性の、又女性のみが背負う育児のことを多くの人が考えてほしい。(江東区)

●子どもがいる人が、子どものいない人ともつとましくコミュニケーションがとれ、お付き合いの出来る社会にしていかなければ、子連れを受け入れてくれる場所は、増えないと思う。傍若無人な子どもだけの様子だけでなく、子どもの良さを社会にアピールしたいですね。そのためには、どうしたらいいのか、考えて。(国分寺市)

●子どもにとって、生活しにくい状況が、今の社会の一部分に根強く存在している場合がある。子どもも、一個の人間として、社会の一員として、その存在価値を認めてやりたい。(川崎市)



●行政へのアプローチ方法ご紹介

地域で活動を展開する人にとり、自治体や行政などとのかわり合いは不可欠です。住民の側からのアプローチのノウハウを少しご紹介いたします。

①行政のしくみを理解する。
広報紙・市民の声を聞く会・自治体職員とのネットワークづくり

②自治体の基本構想・計画を知る
自分たちの活動と接点のあるところは、どうなっているかを知る。

③行政を動かすために
行政に問題を持ち込み、解決をはかろうとするときは、自分たちもこういうふうな努力をして、現在はこうだが、ここだけは行政の力を借りないとうしてもできない、というところを具体的に示すことが必要。

④役所であらう回しにされないために
直接の窓口に行かず、公聴会・市民相談室に、「解決するには、どうすればよいか」と相談をしてアドバイスを受けます。対応者の氏名・役職をしっかりと記憶しておく。次回、折衝の日取りを予約しておく。

⑤よきキーパーソンをつくる
行政の内部に、よき理解者そして協力者をみつける。

⑥民生委員や青少年委員などに相談する。
⑦マスコミとのつきあい方
活動の記録を直接、新聞社、放送局にもちこむ。又、自治体の広報担当者、親しくしておく。(宮崎)

「武蔵野市立0123吉祥寺」紹介
千葉県

0才から3才までの乳幼児と親を対象とした全国で初めての施設、「0123吉祥寺」。子育て支援と、子ども同士、親同士のネットワークを地域に広げるコミュニティです。とにかく親子でほっとする所、その中身をご紹介します。

自分の家に帰って来た感じ
閑静な住宅街。園庭、勾配屋根の落ち着いた建物と柔らかなモニュメントが見えてきて中に入ると、「お帰りのさい」と暖かく迎えられる。この一言が、実にさりげなく親子をふっと楽にさせてくれるのです。

子どもが伸び伸び遊べる
ログハウス、砂場、吹き抜けで広いプレイホール・工作のできるプレイルームで子どもたちは思い思いに遊べます。建物の内外に使われている木材のくつろいだ雰囲気、余計なものがない空間、良質な玩具とセンスの良い手づくりおもちゃなど子どもも大人も魅かれる要素がいっぱいです。人見知り、場所見知りの激しい我が息子(2才)もすぐ慣れてお友達と喜んで遊び出したのは驚きでした。

親も落ち着いてすごせる
子どもたちの遊ぶ姿を真近で見ながら、お茶を飲んで話したり、育児に関する本を読んだりできる談話室があります。情報交換掲示板は、リサイクル、サークル案内、講演会のお知らせなどフルに活用されている様子です。二階にも図書コーナーの隣に語らいコーナーがあります。

「おもちゃ図書館併設児童館をつくる会」活動中間報告 黒磯市

93年2月号に紹介させて頂いた「会」の後日談を報告させて頂きます。

地域にかかわること、地域の中で活動することのむずかしさ、人が人と手をつないで何かをやることのむずかしさを感じるこの頃です。結局は、自分がやりたいことが不確かであるということに戻ってくるだけの話なのですが、「つくる会」とは何だったのか、「私」がやりたいことは何だったのか、ということと。

とりあえず、93年4月より市の助成金(27万円程度)を元に、おもちゃ図書館「くるりんこ」がスタートしました。

その後、会の名称も、「くるりんこの会」と変え、広く「子ども」に関する活動をする会というイメージにしました。(目標は、児童館なのですが、イメージを対外的にすっきりとさせるという意味で)

「おもちゃ図書館活動」をベースに、地域での子どもに関する活動を、とにかく何でもやりながら、児童館の必要性を訴えていくという、一見わかりやすいような方向性が、実は、曲者であったということを知りながら、今もこの状況です。

どういふことかと言うと――

おもちゃ図書館には、それなりの歴史と性格社会的意味があります。(障害のある子たちの地域の「場」というような)又、私たちの児童館に託すイメージにも、漠然としているけれど、それなりのイメージがありました。

親子で仲間づくりができる
学習室では親子遊び講座、子育てに関する講座が開かれ、学びや遊びを通じての仲間づくりができること。また、この部屋は通常一定時間に、昼食がとれるよう開放されています。

乳幼児コーナーが充実している
保育室では、赤ちゃんも安心してすごせる畳のコーナーがあります。小さなすべり台、木の玩具で遊べる他、ミニキッチンが設置され、食事・ミルク作りができるよう配慮されています。

では、どうしてこんなに利用者側に立った施設なのか、運営・管理面から見てみます。

●「0123吉祥寺」ができた経緯
もともとこの地にあった幼稚園の閉園を惜しむ住民の声と、就園前の乳幼児とその親を対象とする行政サービスを考えていた市長の発想がマッチしたところが幸運なスタートと言える。既存の施設、法律(児童福祉法)にとらわれない柔軟な行政の対応から、土地購入・跡地利用構想策定委員会・跡地施設運営検討委員会が設けられていきました。

●ソフトを重視したハードづくり
施設運営検討委員会は、社会学、心理学教授や小児科医、幼稚園教諭、建築家など行政外部のメンバーで構成されました。設計段階からの子どもの視点・親子での利用しやすさを重視した話し合いが、施設づくりとその後の運営に大きく影響したと言えます。

●利用者を最優先とする管理運営主体
市から委託された形で武蔵野市子ども協会(第三セクター)が管理運営。五名のスタッフ

(地域の中での、子どもの解放区、そして子連れの交流の場)。これを、単純にくっつけてしまえと考えた、この素朴さ。この一年ちょっとの間、「おもちゃ図書館」の月一回開館、地域のイベントへの参加、寺内定夫氏を招いての講演会、そして、社会福祉協議会や市(福祉課)への働きかけなど、手探りながら結構いろいろやってきました。

しかし、「おもちゃ図書館」は、深くつちかめばつちかめば「おもちゃ図書館」であって、「児童館」には転化しない。「児童館」は「児童館」で、市長の議会答弁によれば、「現在の財政状態では、建設は考えられない。他のものを、その必要性に対応するものとして、機能させてゆく意向(公民館などで)」とのこと。

その上、現在建設中の市福祉センターの中に予定している「おもちゃの図書室」は「おもちゃ図書館」ではありません。と、担当の福祉課から、釘をさされる始末。ちなみに、(どこでもそうかもしれませんが)この行政の体質には、はなはだうんざり、懇談会を申し入れても回答はなく、「要望書」を出せば気分をこわし、周囲の親切な方々は、「市民から要望なんて」と、ごていねいな忠告もあつたりして……

結局は、市のペースでどんどん進み、確かなことは全く別の思惟のところから、一般的な情報として入ってきてしまうという状態。――こんな状況で、いったい何なのではないか。つまるところ、そもそもこちらのあいまいな方向性が、呼んだ結果と思わざるを得ない訳です。

フはほとんど保育、福祉経験者で管理する面よりも親子のよき相談役という感じですが。

●基本理念の徹底
少子化、核家族の進行、地域での共同意識の希薄化などの現状を適確に認識した上で、特に孤立しがちな未就園児とその親に対して支援をしていくという姿勢が一貫していると言えます。しかも主催事業と、日常の遊びを通じての自主活動の支援との二本立てで、押しきせの施設ではない魅力があります。

書いている内にまた行きたくなってきました。公園、公民館、児童館、親子で行く所はいろいろあるけど、なかなか小さな乳幼児を連れて気がねなくいられる所は少ないのではないのでしょうか。「0123吉祥寺」のような施設そのものが無くて、行政側にも少し育児環境の厳しさへの認識と、利用者を重視する姿勢があれば、ずいぶん既存の施設も使いやすくなると思います。三才までの時期、母親だけがべったり愛情をそそぐよりも、様々な対人関係の中にいる方が子どもの成長にとってはよいのではないのでしょうか。もちろん母親の成長にとっても。

そんなこんなを理解してもらうために行政の担当者にはこの施設をアピールしましょう。

住所：武蔵野市吉祥寺東町二丁目二九一(吉祥寺駅徒歩二分、関東バス西荻窪駅行東町一丁目下車徒歩二分)
開館：火・土曜 九～一六時

※快く取材に応じて下さった森下久美子園長、どうもありがとうございました。

ただ一つ救われるのは、この「くるりんこの会」がここまで来る間に、主なるスタッフ数人の関係が個人的にも深まり、ここまでつながってきたというところ。この二年間の一番の成果は、ひょっとしたらこのことかもしれない。何かを求める情熱で、ここまで手をつなぎあってきたということでしょうか。でも、やっぱり――と思うのです。児童館がほしいと、切実に思ったときの状況をもう一度実態として確認する、地味な作業からやり直すしかないかなと、個人的に考えています。

以上、「くるりんこの会」活動の中間報告でした。

児童館に関する情報、つくり運動に関するアドバイス、おもちゃ図書館に関する情報など、ありましたら何でも一報下さい。どうか宜しくお願いします。

連絡先



・さんの活動記録を依頼して、正解でした。今までの経過を眺めて頂き、頭の下がる思いと、真面目から取りくんでおられる姿に、感動します。私自身にも、元氣と勇気を与えて頂き、深く感謝しています。この人から与えられる、いろいろな影響というのは、計り知れないエネルギーがあるものですね。皆さんは、どのように思っていますか。

(宮崎)

もうすぐ五才のお姉ちゃんのお食事がひどく、幼稚園で給食拒否症のようになってしまい、毎日ワンパターン弁当です。三才になった下の男の子は最近特に甘ったれになって、外では一歩も歩かずだつて。かんしゃくもひどくて困っています。あと、主人のこと。子ばんのうで子どももよくないでいるのです。が、度を越えていて、四人でいると下の子は「パパ、ママ」です。よく、何があっても子どもは結局母親の方が好き、と言いますが、うちは逆。病気の時など「パパ」です。外でこれ何度かきいた思いをしたことか。こういう悩みをお持ちの方、又はアドバースして下さる方、ご連絡いただけたらと思います。私自身も母性が弱いのか、子どもとべったりでいるのが苦痛になっています。在宅のワープロに苦痛を感じています。在宅の方、ぜひ状況をお聞かせ下さい。

新入会員自己紹介

あんふぁんてから

あんふぁんてへ

★ 二才の娘は、だんだん言うことを聞かなくなり、外へ出ると一人で飛び出してしまふ、帰ろうと思っても泣き叫び、いつも無理やり連れ帰ることに。家の中にも「だめ」ばかり言っています。それでもいいことをきかないことがほとんど。そんな状態でイライラしつづけています。一時は真剣に保育園に預けようかと迷いました。こんな好奇心いっぱいの娘への接し方を、経験者の方はぜひ聞かせてください。



★ 三才の女の子と一才の男の子がいます。思わぬ妊娠・結婚ということになり、育児ストレス・社会から取り残されそう不安・夫との関係・様々な問題に悩まされた四年間でした（現在進行形）。けれども、早く結婚し、いろんな壁にぶち当たったからこそ見えてきたものもあります。将来へ子育てが一段落つくころは、もう一度大学院に入り、両親が子育てしやすい環境をつくる、自分が母親だからこそ話せることをみんなに伝えていくような仕事したいと、今はいろんなお母さんの思いや悩みにアンテナをはりめぐらせています。来年は広島から三重県津市に引っ越します。「あんふぁんて」のそちらの方ともネットワークを作りたいです。

＜自治体発「子育て支援事業」紹介＞
各地方自治体の平成六年度予算案をみると、子育て支援事業がよりいっそう充実されるようです。いくつかを紹介しましょう。
①三鷹市の児童施設「すくすくひろば」
今年の六月六日にオープンした、この施設の正式名称は、「下連雀保育園子育て広場」(園長先生は、市児童福祉課から来られた、井上孝子氏である)。親が子供と一緒に遊んだり、親同士で交流したりすることができ、子育て相談にのる機能を併せ持っている。毎日のプログラムもいくつかあり、専門家を招いての講座も予定されている。この種の施設がどんどん新設されることを、願います。この特集号が、そのきっかけ作りに役立てば幸いです。
場所 三鷹市下連雀四丁目下連雀保育園内
電話 0422(45)7710(無料)
月・金曜日 午前九時半～午後三時半
②大阪市
・多様な保育サービスの提供 保育時間延長
・ショートステイ事業
・親の出産・病気など、就学前の児童を、一週間の間に預かる
・子育てにまつ子テレホン
今年九月からスタートする電話育児相談
③板木市
・二才目からの子どもの保育料が無料になる
(但し、所得税支払額による)
④宮城県
・低年齢施設運営助成事業
無認可保育所で、一定の要件を満たすところに、行政から給食費などを補助する。

＜参考図書紹介＞
地域活動・サークル活動に、お役に立つ本。又、みなさんの「私のおすすめ本」も是非、おしえて下さい。
「ハンドブック子どものための地域づくり」
あしたの日本を創る協会編 晶文社 '89年 二二〇〇円
地域活動にたずさわっていると、いろいろな疑問に直面します。そんな時気軽にページをめくる本。ヒントが豊富にのっています。
「会のもち方 活かし方」
松本 勉 日本YMCA同盟出版部 '85年 一五〇〇円
グループ作りの手順が、詳しく説明されている本。最近、やっと見つけ出した本。
「何かをしたい主婦のために」
東海BOC可能性教室 学陽書房 '85年 一〇〇〇円
副タイトルは「主婦の壁を破るセミナー」の記録です。まじめに、自分の心と向き合う内容で、刺激の多い本。この学陽書房から出版されている高橋ますみ氏の著書もおすすめ「育児力」
藤村美津・伊藤雅子 ちくま文庫 '90年 五〇〇円
育児の力は、人とかかわりの中で、大人自身が自ら育てていくときに、はじめて獲得できる(本中引用より)友人・グループの読書会におすすすめ。



特集メンバーから
・千葉の東葛飾郡に引越して、三カ月がすぎやけり、市町村団体により、大きな差があることを再認識しました。主に、アンケート集計と0123取材を担当しました。
(千葉県)
・つわりで、思うように勉強できなかったの、むしろこれからはと母子福祉について勉強していかなくては、思っています。
(九月に第二子出産予定です)。主に、アンケート結果と展望、イラスト・ポエムを担当しました。
(山口県)
・ちょうど、原稿書き、編集作業の時期に、つわりで悩まされ、どうしようかしら、なんて思いつつ書いていました。久しぶりの(四年)産婦人科通いに、とまどったりしています。来年二月が、予定です。又、新生児とつきあう(？)日々が始まりますので、今度は大いに、楽しみたいと思います。今回のアンケート活動が、産経新聞に紹介されました。(六月二十三日) 編集全般を担当しました。
(神奈川県)

「公共施設の現状と母子福祉」特集号へ是非、ご意見・ご感想、その他何かありましたら、ご一報下さるよう、お願いします。テーマに関して、様々な分野の情報を採り、次の活動につなげていきたいと切望しています。(特集メンバー)

のために黙々と夫が働いていてくれる」という感覚を大事にしたいんです。今は普通の家族をしていることを大切にしたいのです。娘に対して、「私にはきょうだいどころか両親すら居なかった。でも、あなたには両親がいる」と言い切れる気がします。

また、私は理系の大学の学費は出してもらったんです。子どもに愛情を与えたんだから、学費はかまわない、という理屈はとおりません。そうすると、単純に「私の子どもはより高くかかるな」という感覚になるんです。わが家で理工系の四大に二人出すのは無理だと思っています。

最近、ボランティアに凝っていて、四大出の両親が二人目の子どもを高校でやめさせたからシンシクものだろうけど、高校までのかった代金を、仮に発展途上国に寄付したら、いったい何人の子どもの十分な教育をうけさせられるだろう、と考えます。これも自分の両親から、お前にかかったお金を貯金しといったら、いくらになったかと言われ続け、学費は出してもらっても、愛情をもらえなかった世いです。しかし、自分が親になった事で、他の子どもを考えたように思っています。余裕を持てる範囲で大事にしていきたいと思っています。

私は自分の両親のように「あなたのために何々してあげた」という言葉で子どもを苦しめたくないです。蛇足のようにですが、何人も産めば誰かは自分の面倒を見てくれるだろう、と考えるなら、老後の蓄えをしたほうがいいと思います。

今度は支える側で

松戸市

松戸では初めての一時保育者養成講座の一期生として昨年五月から学習し、この四月からグループ化し、活動を開始しました。

保育技術よりも「子どもを預けて学ぶ母親の気持ち」を理解し、密着育児の現状を認識し、保育を通して私達自身も主体的に社会参加し、自分を鍛えながら子育て後の生き方につなげていくという、女性問題を押さえての学習中心でした。このグループの会長として今年度は忙しい年になりそうです。公的施設の運用や人材登用などについて、もう少し学習して、他市のあんふぁんての方々からの情報なども得られたら、と思っています。

大人のいじめに遭って

匿名希望

子どもだけではない。大人の間でもちゃんと「いじめ」が存在することを知ることになった。四月に移った職場で、それまでの上司だった人はちゃんと私にも意見を言わせてくれた上へそれが却下だったとしても「仕事に取り組んでくれたのに、新上司が何でも自分の思うようにものを決め、進めてゆくのに直面した私は、いくつかが意見を口にしてみても、完全に無視されるという体験をした。つきあってゆくうちに、同僚の誰一人として本音で話せない事に気付いた私は、しだいに心のバランスを崩していった。

それは、いくつものミス、公用車の軽い事故……という形で、私の表面に出てきた。その度にどんどん上司は私に対して冷たくなって

ゆき、一ヶ月もした頃には朝の挨拶すら返してくれない関係になってしまった。私でない人のしたミスも、私を呼びつけてどなる。一日に何回どなれることか。口をきく時は、どなる時と皮肉を言う時だけ。あちらこちらに課に行つては、私の悪口を言ってくるらしく、別なエライ方にまで呼ばれて叱られる。ぶたれすぎておびえる犬のように萎縮してしまい、また変なミスをすると、その悪循環。担当だった仕事は一つずつ取り上げられ、他の人全員が聞いている伝達事項も、私だけ外される。辞表を出すのを待っているのかしら。窓際の席がわかれる。どんなに忙しかいところでもかまわない。もっと気持ちよく仕事ができる場所へゆきたい。上司の下についている年上女性もすごく意地悪で、新しいワープロ用のシステムフロッピーを、私だけ抜きにして他のワープロを打てない人にまで配ったりする。

ミスをしたことが、この「いじめ」をまねいたのだろうか。他の人はミスしても笑ってすまされるのに、私だけはいじめる。でも、部長と上司は友達なので、部長も私の言葉よりも上司の言葉を信じるだろう。他のところへ異動したい。発狂寸前までいって、夜中、気付いたらマンションの十階の踊り場にボンヤリしていた事もある。でも、今死ぬわけにはゆかない。自分で自分にビンタをくらわすような気持ちで、人間界へ戻ってきた。

今も「いじめ」は続いている。が、私はニコニコと出勤している。真つ暗な大海を、土砂降りの中一人で泳ぎ渡っている気分です。

来期案決定のための

会員交流会

9月1日(木) 午前10時30分～午後2時
中野区女性会館1階保育室
(JR・地下鉄東西線中野駅南口徒歩3分・線路沿いに新宿方向へ坂を登り、マンションとコンビニの間を右に入る)

☆年に一度みんなで「あんふぁんて」全体のことを考える日。ぜひ参加してください。

☆子連れ可。弁当持参。参加申込は8月20日までに葉書で事務局まで。子連れの場合は、子どもの名前・年齢・性別も明記のこと。直前の飛び入りも可能。その場合は8月末までに電話で事務局に連絡を。

あんふぁんて20周年に向けて

☆現在の会員の声

●7月号のアンケート報告でも分かったとおり、本音が聞きたい、なまの情報が欲しい、といった声が圧倒的。これは、アンケートに回答したのが「ひとり」で子育てしないので、等を読んで入会した新人中心だったため。

☆会員がやりたい事

●自分自身の仲間を作る、自分の考えていることを表現するなど、母としてではなく私として何かをやりたいという欲求が強い。

☆会の財政

●「ひとり」出版を機にマスコミに働きかけたこともあり、以前報告した他にも産経新聞やF M山陰の番組、「すくすく赤ちゃ

次の子についての私の意見

相模原市

私は五月の始めから会員になった者ですが、六月号の記事を読んで、日頃から感じている事をお便りしたいと思いました。

私は現在三十一才で、三才のひとり娘がおります。活発でひとなつっこい子どもです。次をつくる気はまったくありません。始めは娘を産んで体をこわしたのが理由だったのですが、最近「きょうだい(ひとり)目だから弟妹」がいなくていいことだな」と思うようになりました。

私の幼い頃、両親はいつ別れてもおかしくないほどいがみ合っており、私はおねえちゃんだというだけで母親のグチを年中聞かされていました。両親は、私が明るくない変な子どもになったので、八才離れた弟にはもっとと気をつかっていて、私は絶えず差別され、きょうだいをつくってやっ、女なんかには学費を出してやっ、と恩をきせられました。

それでも、当時は母親のグチ聞きを当り前の事と思い、ひとりでも生きていけるように手に職をつけなければいけない、と考えていた。優秀な生をや、大学も出て、然るべき資格もとりました。多くの人は私の話を聞いて、「学費出してきていいご両親じゃないの」という反応をします。「次の子を作らないなら、働きなさいよ」とも言います。

でも、あまり器用なほうじゃないので、もう少し家に居たいと思います。絶対父兄から「学費出してやってるんだから、口答え一つするな」といばられて、いつ暴力を振るわれてもおかしくない状況だったので、「自分

ん」7月号等に会のことが紹介され、入会希望者も本の注文も激増。財政的にはやや持ち直して来た。

☆会の運営

●事務局スタッフは二人になって楽になった。はずだったのが、会員増のおかげで嬉しい誤算。日々の仕事と会報作りで追われ、各地の会員との連絡などが滞りがち。会報作成やイベントの企画・実行など、早く担当メンバーに渡したい。

●会全体の方針を具体化し実行していく「あんふぁんてスタッフ」は、現在ほとんどいない。あんふぁんてを自分自身の会として認識してないためか？スタッフがいなくて会がなりたたなくなってしまう。

●会報については、特集担当者はいるものの継続的に関わるメンバーがいないうえ、会報に一貫性がなくなっている。紙面刷新をとという意見もある。2チームくらい組める人数が必要。

☆今年のアんふぁんて

母親ストレスを感じたり、嫁の立場で家制度のなごりと戦ったり、社会参加したくても保育制度の壁や公共施設等の配慮のなさなどで密着育児を余儀なくされたり、女性をとりまく状況は二十年前と変わっていない。むしろ、母親達が人との関わり方を学んでおらず子どもと他の大人ともいい関係を結べずにいるだけ、今の方が状況が悪いとも言える。そんな中で「あんふぁんて」は何ができるか、自分は何がしたいか、この交流会で話し合います。具体的アイデアを持って参加してください。(川崎)

へ情報コーナー

●「我コソハ オッサン」連に告ぐ

浜松市

「私はオッサン」発言から時がたちますが、その後あらちちより「私もオッサン」宣言が聞かれ、オッサンは少々面食らっている頃であります。しかしながら、オッサンである事を隠して生きてきたひと頃よりも、暮らしやすくなったのは事実であります。全国のおッサンよ、踏み絵を踏まずとも言うおう、「我はオッサンなり」と。

群れることをきらうオッサン達にこうして問うのもためらわれましたが、「意外と主張好き」というオッサンの性(さが)に期待をして。オッサンについて語って下さい。

・過去のいついかなる時に、我が身をオッサンと認識したか

・育ってしまった女の部分を、今どう持て余しているか(どうしてもパンツにはフリルが必要である、とか。下品かしら?)

・オッサンが嫌う物(例えば連れトイレ等)

・オッサンの定義

★今月末までに事務局へ原稿を、

★「朝鮮半島で戦争を起こさせてはならない」パンフレットを作りました。

「朝鮮半島で戦争を起こさせるな」緊急行動」で編集しました。浅井基文氏(明治学院大学教授)と伊藤成彦氏(中央大学教授)の講演録。なぜいま、北朝鮮の「核疑惑」が持ち出されてきたのか?日本の有事体制作りは?ぜひご一読を。A5版、48ページ、500円。申込

は子まで。☎

★へ大阪発関西メンバー定例会

六月の天王寺公園はお天気もよく、なんと西宮から奈良からと、七人のメンバーが集まりました。自己紹介をしたあと、子どもは水遊び、親はお昼を囲んで楽しいお喋り。まだ参加されていないあなたも、ぜひ一度のぞいてみて!!

9月22日(木) 11時大阪城公園駅(JR環状線)

改札口集合。弁当・水筒・おやつ・レジャーシート・お金等持参。雨天中止。

目印にあんふぁんての会報持っています。

問合せは☎

★上映会「みんなが孫悟空」・どんな大きな空よりもっと大きなものがある

9月3日(出) 午後6時鳥山区民センター

話・鳥山敏子(小学校教師) 料金千七百円

主催・上映をすすめる会(☎予約千五百円)

☎

鳥山先生と子どもたちがミュージカル「孫悟空」をモンゴルで公演するまでに浮かびあがった子どもたちの問題、大人の生きざまと、そこからの再生の記録の映画です。

★橋由子さんの講演会・「本当にこのままでいいの?」セックスと夫婦の関係

9月17日(出) 1時半〜大田区女性センター

申込・問合せは☎

本日まで(夜は10時までに)

●8月3日(木)〜22日(月) 事務局夏休み

(この間の事故の連絡等は手紙でお願い)

9月1日(木) 来期案決定会員交流会

9月20日(火) ミーティング (事務局)

9月24日(出) 土曜あんふぁんて (神楽坂)

10月3日(月) 10月号発送作業 (神楽坂)

事務局までの地図

☆当会について詳細を知りたい場合、封書にて、郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記し切手四百円分(なるべく少額切手で)を送って下さい。宛先は表紙上段に記載。

☆入会希望の場合は、なるべく六ヵ月(三千円)以上まとめて郵便局の振替口座で払い込みを。口座番号は表紙上段に記載。なお電話番号記入もお忘れなく。

☆事務局の電話番号は原則として月々金曜の12時〜2時です。御協力をお願いします。

☆会費の振り込みを忘れていらっしゃる方は至急振り込みを/休会、退会も必ず連絡を下さい。